

焼津市立黒石小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月20日（火）

体験し、古代の知識を得られ、センターの仕事もわかりました。



土器に触れたり、石器の試し切りをしたりすることで、古代の知識を得るとともに、歴史学習への関心を高めることをねらいとして、センターの仕事の話・土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の4つの体験を行いました。教科書だけではわからないことが、本物に触れることで発見でき、どの体験も夢中になって取り組む姿が見られました。

◎職業講話(センターの仕事)

埋蔵文化財センターの仕事の内容を画像を見ながら興味深く聞いていました。発掘調査や遺物の保存方法などの話を聞いて、この仕事に携わるためにどのような勉強が必要かを知ることができました。



◎石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石の話聞いた後、持参した野菜くずを黒曜石で試し切りし、

堅い野菜も切れ味鋭く切れることに驚くとともに、黒曜石の必要性を感じていました。

◎火起こし体験

大変日差しが強く、汗をかきながらの火起こしとなりました。

デモンストレーションでは、本当に火が起きるのか興味をもって見ていました。自分たちが弾み車を回す段階になると、リズムよく回して、火種ができたかどうかを覗き込むように見て、火種ができると火口にのせ、煙が目にしみて苦勞しながら息を吹きかけ、やっとのことで火が起きました。



◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについて話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、

重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。微妙な土器の違いを話し合いながら分類することで人類の進化を感じ取っていました。